

創つくるる

vol.164

令和4年7月1日発行

ごあいさつ	1
役員紹介	7
現場紹介	9
トピックス	10
防災日誌	14
協会だより	15



ごあいさつ

今年4月に島田労働基準監督署及び管内の県の出先機関等に新しく着任された所属長様から今年度の重点施策や取組みなどについて寄稿していただきました。



島田労働基準監督署長
内藤 匡樹 氏

〔前職〕静岡労働局（雇用環境改善・均等室） 監理官

（一社）島田建設業協会及び協会員の皆様方には、日頃から労働基準行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

○第13次労働災害防止計画

今年度は、第13次労働災害防止計画の最終年になります。

目標は、平成29年の数値と比較して令和4年度までに、死亡災害については15%以上の減少、死傷災害については5%以上の減少です。



すと、折れ線グラフの死傷災害は4440人、棒グラフの死亡災害は23人となっております。

昨年、県内の建設業では10人の方が労働災害に遭われなくなりました。死亡災害ゼロを切に願っております。

全国的には、建設業の死亡災害は283人（令和4年3月速報値）で、過去最少であった前年同期よりも大幅に増加しております。全産業の死亡災害のうち、建設業が34・1%と高い割合を占めていることから、なお一層の労働災害防止対策の推進が求められております。

特に、建設業の死亡災害件数の中で4割以上の高い割合を占めているのが「墜落・転落」災害です。足場における「より安全な措置」への取組についてお願いいたします。また、建設業の死傷災害における「墜落・転落」災害の約3割を占めるのが、はしご等からの墜落・転落です。

今一度、はしごや脚立からの墜落・転落防止措置の徹底、適切な保護帽の着用の確認についてお願いいたします。

○人生100年時代と建設業の働き方改革

「人生100年時代」と言われ、建設業においても高齢の方が多く活躍されております。そういった方々が長年建設現場で培ってきた労働安全の「経験」と「技術」を伝承していただけたらと思います。

そのためには、次代の建設業を背負っていく若者に入社してもらうとともに、入社した若者が離職せず、定着してもらうために「働き方改革」が必要となります。

また、高齢化社会や人手不足社会に対応した働き方とするためには、高齢者や女性にとって働きやすい職場環境にするとともに、育児・介護・病気を抱えながら仕事と両立できる環境の整備が望まれます。そして、そのような働き方に適した労働環境にするためには、長時間労働を解消していく必要があります。

建設業では令和6年4月1日から時間外労働の上限規制が適用されます。

労働基準監督署では、中小企業を支援するため、「労働時間相談・支援班」というものを置いており、違反の指摘をするのではなく、支援する体制を整えております。是非、お声かけいただければと思います。

最後に、貴協会及び協会員の皆様方の益々のご発展とご健勝、労働災害ゼロを祈念して結びとさせていただきます。

建設業事業主のみなさまへ

働き方改革は進んでいますか？
改正労基法の適用猶予が順次廃止されます

2024（令和6）年4月1日～

（災害の復旧・復興の事業を除き）上限規制をすべて適用

※ 災害の復旧・復興の事業の場合は、時間外・休日労働について「月100時間未満/2～6か月平均80時間以内」の規制は適用されません。

監督署の労働時間相談・支援班にご相談ください



改正労働基準法・労務管理改善などのご説明・ご相談を賜ります

建設現場も働き方改革を促す



交通基盤部理事兼

島田土木事務所長

天野 重男 氏

〔前職〕企業局参事

○今年度の重要な取り組み

静岡県交通基盤部では、令和4年3月に、県土づくりやインフラ整備の方向性を示す「美しいふじのくにインフラビジョン」を新たに策定しました。

これまでの「安全・安心」「活力・交流」「環境・景観」の3つの各分野に加え、社会情勢の変化としてインパクトが大きい、「デジタル革命の加速」と「グリーン社会の実現に向けた動き」に対応する施策が新たに位置付けられました。

「安全・安心」の分野では、激甚化・頻発化切迫する自然災害への防災・減災対策の強化として、相良須々木海岸の防潮堤や坂口谷川の水門整備による津波対策、管内河川の浚渫や護岸整備による水害対策を進めています。

また、「活力・交流」の分野では、産業や交流を活性化させる道路等の交通ネットワーク機能の強化として、「陸・海・空のネットワーク」となる国道473号バイパス（金谷相良道路）や、都市計画道路焼津広幡線等の整備を進めます。

そして、「環境・景観」の分野では、誰にもやさしく、快適な生活環境の形成を目指して、自転車走行空間の整備などを進めます。

さらに、これら各分野に共通する取組として、ICT建機の活用など「i-Construction」を推進していきます。

○建設業界に期待すること

建設産業は、社会インフラの整備や維持管理を通じ、地域の生活や経済を支えるとともに、災害時には最前線で地域の安全・安心の確保を担う

「地域の守り手」として重要な役割を果たしています。このため、地域からの大きな期待を背負っていることを誇りに持ちつつ、持続的な発展が重要です。

一方で、人口減少・少子高齢化の進展に伴い、建設産業は、従事者の高齢化



国道473号 金谷相良道路Ⅱ 菊川の里大橋の完成



二級河川坂口谷川 水門整備（令和4年3月撮影）

や若手入職者の減少等の課題に直面しています。持続的な建設産業を継続していくためには、担い手の確保・育成が不可欠です。このため、官民が連携して、働き方改革や生産性向上の取組を推進するとともに、建設産業の従事者に誇りや働きがいをもたらす、担い手の呼び込みや定着につながるよう、インフラの重要性や魅力を広く発信することで、建設産業への理解促進に努めていきます。

社会インフラを支える建設産業が、新4K（給料、休暇、希望、きれい）の環境づくりを実現させ、夢や誇りのもてる魅力ある産業に発展するよう協力し、共に魅力ある地域づくりを目指していきましょう。



志太榛原農林事務所長

乾 正嗣 氏

〔前職〕 経済産業部 農芸振興課長

日頃、県の農業、農地・土地改良、森林・林業行政に多大なる御支援と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。私は、令和4年4月に志太榛原農林事務所の赴任しました。これまでの所長と同様に、主に農業生産振興関係の業務に従事してまいりました。

○今年度の重点方針や今後の取り組み

県は、本年度から、県の総合計画「静岡県の新ビジョン 後期アクションプラン」を開始し、この計画と一体的に施策を推進する分野別計画として「食と農の基本計画」（農業部門）、「農業農村整備みらいプラン2022―2025」（農地・土地改良部門）、「静岡県森林共生基本計画 2022―2025」（森林・林業部門）を作成し

ました。当事務所では、志太榛原地域の「地域計画重点プロジェクト」を進めてまいります。

取組の一部を紹介すると、農業部門では、主力品目である「お茶」について、「地域特性を活かした茶生産体制の再構築と持続可能な経営体の育成」を目指して効率的・持続的な農地利用の推進を図ってまいります。

次に、農地・土地改良部門においては、「農の営みを支える戦略的な生産基盤づくり」、「農の暮らしを育む多様な邑づくり」を基本施策とし、茶園等の基盤整備や農業水利施設の更新整備、農業用ため池等の防災・減災対策を進めるとともに、関係人口の拡大に取組んで参ります。

さらに、森林・林業部門では、森林資源の循環利用を担う林業・木材産業によるグリーン成長や森林の公益的機能の維持・増進を進めるため、トラック道の整備やドローン、航空レーザ等の先端技術を活用した丸太搬出コストの縮減、木材生産計画の効率的な作成に取組むとともに、災害に強い森林づくり取組んで参ります。

○建設業界に期待する点

建設業界のみならずには、農林業の生産基盤や地域住民の安全な生活を支える工事などに従事いただき、深く感謝申し上げます。私どもは、発注者として適正な事業執行と工事管理に注力していくとともに、作業現場の皆さんとの信頼関係の構築を図り、

工事施工環境の改善に努めてまいります。引き続き、県民の立場、利用者の立場を踏まえ、質の高い安全な工事の施工に務めていただくようお願いいたします。



中山間地域における茶園の区画整理（瀬戸谷地区・藤枝市）



林道びく石大沢線（藤枝市西方）



焼津漁港管理事務所長

東 誠 司 氏

【前職】浜松土木事務所天竜支局長

○今年度の重点方針や今後の取り組み

焼津漁港に対しては、増加が見込まれる760トン級の大型海外まき網船などに対応する泊地・係留施設や高度衛生管理型荷捌き所や冷蔵施設の周辺整備による競争力の強化が求められています。

また、切迫する南海トラフ等の地震・津波の被害軽減に向けて、防波堤の耐震化や粘り強い構造化を行うとともに、大型化・激甚化する台風等の被害を防止するため、防波堤がもつ防波機能の強化を向上させる必要があります。

そこで、これら「水産業の競争力強化」と「漁業地域の強靱化対策」の2つを事業目的とする新たな「特定漁港漁場整備事業計画」を令和4年度を初年度として事業期間10カ年で総事業費100億円を超える規模の施設整備を行ってまいります。

今年度は、従来計画に引き続き防波堤の

粘り強い構造への改良工事を進めるとともに、胸壁の整備、水門の検討並びに津波防災ステーションの長寿命化対策等を実施してまいります。

○建設業界に期待すること

社会インフラの再整備や災害復旧など、地域の安全・安心を担う建設業界は社会にとって欠かすことのできない存在です。

東京オリ・パラ特需以降、新型コロナウイルス感染症拡大やロシアのウクライナ侵攻により、燃料や建設資材の高騰など、大きな影響を受けています。一方、コロナ禍で建設業界にも大きな変化がありました。デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進です。感染拡大防止のためのテレワークは広く知られましたが、このITツールにより、より早く、より高度に、より安全に建設工事が進められるため、生産性の向上に不可

欠となっております。

例えば、受発注者にとっては、遠隔臨場の導入は現場への移動時間や設計書などの携行物の大幅な削減につながります。さらに受注者側にとっては、3次元地形データを取り込んでいけば、提案(協議)する構造設計図を画面上で重ねて表示し、構造や寸法を確認できるようにすることで、再測量や検討待ちで現場を無駄に止めることなく課題解決につながる事例を経験できるようになってきました。

今後も公共事業においては、インフラの多くに再整備が必要になっていきます。また、大規模自然災害がいつやってくるかもしれません。

(二社) 島田建設業協会の経営者やご担当者のみならず、さらなるDX化の導入をご検討いただき、魅力ある産業への持続的な発展を期待しております。



概要平面図



胸壁の整備



防波堤の粘り強い構造への改良



御前崎港管理事務所長

平井 一彰 氏

【前職】交通基盤部都市計画課長

○今年度の重点方針や今後の取り組み

「重要港湾」の御前崎港、「地方港湾」の相良港及び榛原港の3港を管理する当事務所では、大規模災害等から県民の生命と財産を守る津波対策施設などの整備をすすめるとともに、長寿命化対策を行いながら、港の機能を十分に発揮するための港湾施設の整備や維持管理を進めてまいります。

なかでも、国際海上輸送の拠点である御前崎港は、背後圏である県中西部地域の自動車関連産業をはじめとした県内産業を物流面で支える一方、さまざまなマリレジャーへの利用やクルーズ船の寄港など地域の賑わいの拠点にもなっております。

しかしながら、現在は全世界的な新型コロナウイルス感染症の蔓延や世界情勢の不安定化等により海上物流の混乱に加え、クルーズ船の寄港やイベントの中止など御前

崎港にも少なからず影響が生じています。

このようななかにあつて、大規模災害発生時には緊急物資の輸送拠点となる御前崎港では、胸壁等津波対策施設の整備について着実に進捗を図っております。併せて想定を超える津波に対しても被害の軽減を図るため国直轄事業による防波堤の粘り強い構造化も進め、複合的な津波対策により御前崎港の強靱化に取り組んでまいります。また、港内の西埠頭では、2023年夏の稼働を予定しているバイオマス発電施設の建設が進められておりますので、脱炭素化社会にも配慮したエネルギーの供給拠点として、バイオマス燃料の運搬船受け入れ環境整備も進めてまいります。

○建設業界に期待すること

建設産業は、人口減少や少子高齢化の進展等に伴う就業者の減少が進行するなかで気候変動による台風の大規模化などの災害リスクの増大や老朽化した土木施設の急速な増加が見込まれるなど、社会資本整備の担い手として求められる役割はますます増大しております。また、2050年



2021年で開港50周年を迎えた御前崎港と相良港、榛原港



「防潮堤整備」や「防波堤の粘り強い構造化」等の複合的な津波対策により強靱化が進む御前崎港

カーボンニュートラルに向けて、環境配慮型資機材の活用など、建設工事における脱炭素化の取り組みも新たに求められてきます。

今後、このような環境の変化や社会的な要請に対応していくためには、官民が連携して、働き方改革により建設産業の魅力を高めて担い手を確保するとともに、高度通信技術や新技術新工法を積極的に活用し、建設現場の生産性向上に取り組んでいくことが重要となります。

引き続き、建設業界の皆様と連携・協力し、静岡県建設産業ビジョンで示された夢や誇りの持てる魅力ある建設産業への転換に向けて、取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



大井川広域水道企業団企業長

市川敏之 氏

【前職】静岡県くらし・環境部長

静岡県大井川広域水道企業団は、大井川上流の長島ダムを水源として大井川下流域の4市10町（現在は島田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御前崎市、菊川市及び牧之原市の7市）に水道用水の供給を行うことを目的として、昭和52年2月に設立されました。昭和63年に用水供給を開始して以来、7市の約60万人に「命の水」である安全な水道水を安定供給しています。

現在の水道事業を取り巻く環境を見渡すと、人口減少や産業構造の変化に伴う水需要の減少により料金収入が減少する一方で、昨年和歌山市で発生した水管橋の崩落のような事故を避けるためにも水道施設の老朽化対策が急務となっています。また、南海トラフ地震への備えとして速やかな施設の耐震化も求められています。安全な水道水を安定して供給することを使命とする水道事業にとって大変厳しい時代を迎えています。

○重点方針・今後の取り組み

当企業団では、施設が供用開始から既に34年を経過し、管路の耐震適合率も現在41・1%であることから、今後耐用年数を迎える施設の更新と耐震化に計画的に取り組んでいく必要があります。この為、将来の方向性（ビジョン）、当面10年間の取組方針（経営戦略）、取組の具体的な方策と財政マネジメント（経営計画）を骨格とした「経営戦略2019」を平成30年度に策定しました。その中で、老朽化が進行する基幹施設や管路を中心とした施設更新とそれに関連する耐震化などの課題への対策を、「施設更新事業推進プロジェクト」として位置付け、総合的かつ重点的に推進していきます。具体的には、①施設更新実施計画の策定、②基幹施設の耐震化、③県企業局・榛南水道との統合、④官民連携導入の検討、⑤料金体系の検討の5項目を取組の柱としています。

「経営戦略2019」は令和5年度に中間見直しを行う予定ですが、それまでに上記①～⑤の項目について計画の策定や方針の決定ができるよう取り組んでまいります。

○建設業界に期待すること

建設業界の皆様には、重要な社会インフラである当企業団の水道事業に日頃から御理解・御尽力いただいております。深く感謝申し上げます。また、貴協会とは、発災時に一刻も早く水道を応急復旧させるための「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結させていただいております。誠に有

難うございます。

皆様には、引き続き、水道事業をはじめ、社会インフラを支える地域の担い手として、地域の安全安心を守るべく、御尽力いただきますようお願い申し上げます。



相賀浄水場



右岸牧之原調整池

一般社団法人 島田建設業協会 新役員紹介

役員の任期満了に伴い、令和4年5月17日の定時総会において、(一社)島田建設業協会、建災防島田分会及び島田地区建設事業協同組合の役員が選任されたので紹介いたします。



会 長 朝倉純夫
(株)大河原建設



副会長 山田壽久
(株)山田組



副会長 鈴木 徹
(株)鈴木土建



副会長 梶山 基
(株)梶山組



理事 橋本勝策
(株)橋本組



理事 岡村延昌
(株)岡村建設工業



理事 古川賢吾
フルカワクリエイト(株)



理事 山本利彦
(株)グロージオ



理事 紅林眞之
(株)丸 紅



理事 山岸 豊
(株)山岸建設



理事 原 廣太郎
(株)原小組



理事 菊池松巳
(株)柳澤組



理事 植田 進
(株)加藤組



理事 増田雄也
(株)相良建設



理事 大石真也
(株)大石建設



監事 村松章典
(株)丸川組



監事 落合直人
(株)金谷工務店



監事 木村絃子
(株)木村組



専務理事 原田久仁一
事務局長

令和4・5年度（一社）島田建設業協会委員会 委員名簿

任期：令和4年5月17日～令和6年5月定時総会

委員会名	総務委員会	広報委員会	労務委員会	土木・ 建築委員会	環境・ 災害対策委員会	安全委員会	建設業労働災害防止協会
							防災委員会
県協会 役員	—	鈴木 徹 (株)鈴木土建	紅林 眞之 (株)丸紅	—	梶山 基 (株)梶山組	—	常任幹事 山本利彦 (株)グローシオ
担当 会長・副会長	山田 壽久 (株)山田組	鈴木 徹 (株)鈴木土建	鈴木 徹 (株)鈴木土建	朝倉 純夫 大河原建設(株)	梶山 基 (株)梶山組	山田 壽久 (株)山田組	—
委員長	原 廣太郎 (株)原小組	古川 賢吾 フルカワクエイト(株)	紅林 眞之 (株)丸紅	朝倉 純夫 大河原建設(株)	梶山 基 (株)梶山組	山本 利彦 (株)グローシオ	山本 利彦 (株)グローシオ
副委員長	山岸 豊 山岸建設(株)	三村 秀雄 三村建設(株)	本橋 孝洋 本橋建設(株)	村松 章典 (株)丸川組	増田 雄也 相良建設(株)	落合 直人 (株)金谷工務店	落合 直人 (株)金谷工務店
委員	橋本 勝策 (株)橋本組	八木 利寛 佐藤建設(株)	塩澤 敏夫 (株)橋本組	橋本 勝策 (株)橋本組	岡村 一輝 岡村建設工業(株)	小泉 雄弘 (株)橋本組	小泉 雄弘 (株)橋本組
〃	岡村 延昌 岡村建設工業(株)	横井 秀明 (株)山田組	大石 徹 (株)山田組	山田 壽久 (株)山田組	園田 晴義 (株)園田工務店	植田 優 木下建設工業(株)	植田 優 木下建設工業(株)
〃	山田 壽久 (株)山田組	山本 利彦 (株)グローシオ	西川 稔 角丸建設(株)	山本 利彦 (株)グローシオ	箸 正直 (株)グローシオ	富永 英之 (株)原川土木	富永 英之 (株)原川土木
〃	村松 章典 (株)丸川組	大場 祐一郎 (株)エコワーク	伊藤 干城 (株)鈴竹	青島 英昭 興和建設(株)	天王沢 雄之 池村建設(株)	大石 徹 (株)山田組	大石 徹 (株)山田組
〃	朝倉 純夫 大河原建設(株)	中林 功德 (株)中林建設	大石 真也 大石建設(株)	池田 豊 大井建設(株)	下田 晴久 (株)特種東海フォレスト	小林 大介 (株)杉山工務店	小林 大介 (株)杉山工務店
〃	木村 紘子 (株)木村組	原 王彦 (株)原小組	鈴木 淳二 徳山建設(株)	茂川 雅裕 マルキ建設(株)	高橋 浩司 高橋建設(株)	北村 泰士 (株)丸川組	北村 泰士 (株)丸川組
〃	植田 進 (株)加藤組	大石 健仁 大石建設(株)	神田 優一 (株)神田組	増田 雄也 相良建設(株)	落合 由弥 大石建設(株)	青島 利浩 大河原建設(株)	青島 利浩 大河原建設(株)
〃	鈴木 徹 (株)鈴木土建	辻川 喜弘 (株)木村組		小塚 辰巳 小塚建設(株)		高須 良彦 (株)エコワーク	高須 良彦 (株)エコワーク
〃	菊池 松巳 (株)柳澤組	植田 進 (株)加藤組				田崎 弘幸 (株)田崎組	田崎 弘幸 (株)田崎組
〃		神田 耕一郎 (株)神田組				紅林 昌生 (株)加藤組	紅林 昌生 (株)加藤組
〃						増田 幹 相良建設(株)	増田 幹 相良建設(株)
〃						八木 保之 共和建設(株)	八木 保之 共和建設(株)
〃						鈴木 文昌 徳山建設(株)	鈴木 文昌 徳山建設(株)
〃						菊池 寛 (株)柳澤組	菊池 寛 (株)柳澤組

※建災防災防委員任期
令和4年4月1日～令和6年3月31日

現 場 紹 介

焼津市新庁舎建設工事

新庁舎外観(南西側)



● 工事の概要 ●

工 事 名	焼津市新庁舎建設工事
工事個所	焼津市本町二丁目地内
工 期	令和元年7月1日～令和5年3月10日(予定) (新庁舎 令和3年9月21日開庁)
施 工 者	建築工事：木内・橋本・木下特定JV 電気設備工事：朋電舎・富士電工・ 焼津電設工業特定JV 空気調和設備工事：日管・青島・ 日進特定JV 給排水衛生設備工事：エクノス・ 青島ポンプ特定JV
発 注 者	焼津市
庁舎概要	延床面積：15404.32㎡ 構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造、 一部鉄骨造 8階建て、中間層免震構造

新庁舎外観(北側)



● 新庁舎の機能・特徴など ●

☆窓口部門の集中化

市民課などの窓口部門を2階へ集中配置

☆災害対策

免震構造の採用、執務室・主要な設備を2階以上に配置、72時間以上稼働可能な非常用発電設備の設置、屋上にホバリングスペースを設置

☆ユニバーサルデザイン

各階にバリアフリートイレ、1階玄関とバリアフリートイレに視覚障害者に対応した音声誘導設備、聴覚障害者に緊急を知らせるフラッシュライトの設置、議場傍聴席に難聴者に対応した設備(磁気ループ)の設置、1階・2階に授乳室を設置ほか

☆市民が集う場の創出

展示やイベントに活用できる海街ホールを1階に設置、7階に展望ロビーを設置

☆省エネルギー対策

照明はLEDを採用、太陽光発電設備(20kw)、井戸水を空調の一部とトイレ洗浄水に利用ほか

☆感染症対策

執務室の排気系統にCO₂センサーを設置(設定した濃度を上回ると機械換気を強める)、各窓口カウンターに飛沫防止パネルを設置ほか

全体完成イメージ



TOPICS

～こんな動きがありました～



官民連携修景モデル事業に 協力しました

静岡県と大井川流域9市町で構成する「大井川流域・牧之原大茶園景観協議会」では、地域一丸となって茶園景観の形成や保全に取り組んでいます。島田市阪本地区は、眼下に大井川が流れ、富士山を望み、農家の皆さんが手塩にかけて育てた茶園の畝が広がる、全国でも類を見ない素晴らしい景観を有しています。

この茶園景観の取り組みの一環として、1月8日(土)に県交通基盤部と当協会が連携し当協会会員ら約40人が参加して、県道島田吉田線の延長約200メートルのガードレールをその美しい茶園の緑がさらに引き立つよう景観色(白色↓グレーベージュ)に塗り替えました。



令和4年 新年賀詞交歓会を 盛大に開催しました

1月12日(水)に藤枝市のホテルオーレにおいて新年賀詞交歓会を開催し、井林辰憲衆議院議員を来賓に迎え盛大に新年を祝いました。

冒頭、朝倉会長からは、熱海の土石流災害をはじめとする災害の激甚化や担い手不足など、業界を取り巻く環境は依然厳しい状況だが、地域住民の安心・安全を確保するため、知恵を出し合って乗り越えていきたいとの挨拶がありました。

二年ぶりに開催された賀詞交歓会に参加した会員は、会員相互の親睦や情報を交換する機会となり、有意義なひと時を過ごしました。



交通誘導 安全講習会に参加

静岡県交通基盤部では、令和2年度から公共工事の円滑な施工を図るため、交通誘導員の確保が困難で、交通の安全上支障がない場合には、自家警備を試行的に導入しております。

これを受け、静岡県建設業協会では、自家警備の資格取得のための交通誘導安全講習会を昨年度に引き続き、1月13日、14日に静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)で開催しました。

講習会には、県中東部地区の三島・富士・清水・静岡・島田建設業協会の協会員や協力会社の従業員計54人が参加し、2日間にわたって講義と実技を受講しました。





静岡県では、土木の魅力を広く発信するため平成29年4月に「静岡どぼくらぶ」を立ち上げ、建設産業の担い手の確保・育成や土木の仕事のイメージアップに向け、さまざまな取り組みを展開しています。

この取り組みの一環として、2月10日(木)に県立島田工業高等学校で島田土木事務所が主催する出前講座が開催され、講師として参加した(一社)島田建設業協会の協会員(大河原建設機)が、高校生に3Dデータ作成やドローンなど最新のITC技術体験を実施しました。

「静岡どぼくらぶ」講座に協力しました

令和4年度の事業計画、収支予算が承認されました

(一社)島田建設業協会、建災防島田分会は、3月15日(火)に令和3年度第2回総会を開催しました。

冒頭、朝倉会長は「地域の建設業が継続的に発展し、ポストコロナの新しい地域の創り手としての役割を務められるよう、ICT技術を活用した生産性向上や週休2日の促進など、担い手確保のためにも建設業界の魅力を高めていく必要があります、働き方改革の加速化など各行政機関や団体と緊密な連携を図っていく。」との挨拶がありました。

続いて、議事に入り、令和4年度の事業計画案及び収支予算案が審議され、いずれも全会一致で承認されました。



働き方改革セミナーを開催しました

3月15日(火)の第2回総会後に静岡働き方改革推進支援センター講師で社会保険労務士の石川貴広様を講師として働き方改革セミナーを開催しました。講師からは「2024年4月までに考えておきたい3つのポイント」をテーマに、時間外労働の上限規制の適用について他の会社の取り組み実例も交えてお話をいただきました。



交通事故死 ゼロを目指して



「春の全国交通安全運動」が4月6日(水)から4月15日(金)までの10日間実施されました。

「安全をつなげて広げて 事故ゼロへ」のスローガンのもと、当協会も地域と連携してこの運動に取り組んでおり、運動期間中は、交通安全のぼり旗の掲示や、交通安全の呼び掛けなどを行いました。



無事故無災害を願って!! 安全祈願祭を開催しました

建災防島田分会は、4月19日(火)に島田市の「大井神社」において、安全祈願祭を開催しました。

当日は、新型コロナウイルス対策として、拝殿で密にならないよう出席者を限定し、島田労働基準監督署長や島田土木事務所長と分会役員及び防災委員など21名が1年間の無事故無災害を祈願しました。



令和3年度の事業報告、 収支決算が承認されました

(一社) 島田建設業協会及び建災防島田分会並びに島田地区建設事業協同組合は、5月17日(火)に島田建設業会館会議室において、令和4年度第1回総会を開催しました。

冒頭、朝倉会長は、「新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻により、景気の下揺れリスクが高まっている。地域の建設業が継続的に発展できるように、担い手確保・育成のため、職場環境の整備を進めなければならない。」と挨拶しました。

この後議案審議に入り、(一社) 島田建設業協会、建災防島田分会及び島田地区建設事業協同組合の事業報告と収支決算報告並びに協会と事業協同組合の任期満了に伴う役員選任案などが上程され、審議の結果、すべての議案が全会一致で承認されました。





全国建設業協会長表彰・静岡県建設業協会長表彰等を 多数の会員がめでたく受賞

永年にわたり建設業の発展に寄与した会社または個人を表彰する（一社）全国建設業協会長表彰をはじめとする各種建設業団体の表彰受賞者が決定しました。

なお、例年開催される表彰式は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが当協会からも多数の会社及び個人が受賞しました。

第38回（一社）静岡県建設業協会

建設もの創り大賞表彰

・土木部門 優良賞

大河原建設(株)

令和元年度「第31-D6880-01号」(国)
473号橋梁改築(地域連携2A) 地域高規格工事(4号橋A1橋台工)

・土木部門 優良賞

(株)橋本組

令和元年度「第31-V1410-01号」焼津漁港水産物流基盤整備(特3種外郭)小川南防波堤(改良)工事(粘り強い対策工)

(一社)全国中小建設業協会長表彰

3条1号(建設業振興功労)

菊池 松巳(株)柳澤組

(一社)静岡県建設産業団体連合会会長表彰

表彰状2

大場 信壽(株)大場組

(一社)全国建設業協会長賞表彰

2条2号

木村 紘一(株)木村組

2条4号

友田 宏義(株)友田組

5条

石間 隆一(岡村建設工業(株))

米澤 政義(大河原建設(株))

(一社)静岡県建設業協会長賞表彰

2条4号

高橋 浩司(高橋建設(株))

4条5号

大河原建設(株)

5条

遠藤 全美(株)山田組

大石 達哉(株)山田組

長野 隆(株)グロージオ

村松 高明(大石建設(株))

宮内 孝志(木下建設工業(株))

西井戸 眞(株)柳澤組

小田切勝志(株)柳澤組



国土交通省 浜松河川国道事務所と 意見交換会を開催しました

5月31日(火)に国土交通省浜松河川国道事務所との意見交換会を開催しました。

意見交換会では、今年度の事業概要や総合評価落札方式の賃上げ加点措置などについて同事務所から情報提供があり、協会からの意見・要望等について意見を交わしました。



協会だより ~協会のうごき~

令和3年度(令和4年1月~3月)

- 総会
 - 令和3年度第2回総会 3月15日(火) 当協会
 - ・令和4年度事業計画(案)について ほか
- 新年賀詞交歓会 1月12日(水) ホテルオーレ
- 理事会
 - 第5回理事会 1月12日(水) ホテルオーレ
 - ・役員等の改選について ほか
 - 第6回理事会 3月15日(火) 当協会
 - ・令和3年度第2回総会提出議案について ほか
- 正副会長会議
 - 第7回会議 1月12日(水) 牧之原市内
 - ・第5回理事会提出議案について ほか
 - 第8回会議 2月8日(火) 当協会
 - ・優秀施工者表彰候補者の選定について ほか
 - 第9回会議 3月15日(火) 当協会
 - ・第6回理事会提出議案について ほか
- 広報委員会
 - 広報誌163号発行 1月初旬
- 労務委員会
 - 働き方改革セミナー 3月15日(火) 当協会
- 環境・災害対策委員会
 - ・災害情報システムへの被災情報提供訓練
 - 島田土木事務所 1月17日(月) 全会員
 - 御前崎港管理事務所 1月17日(月) 関係会員
 - ・道路啓開セミナー 1月19日(水) 札の辻クロスホール
 - ・県中部地域道路啓開検討会 3月1日(火) WEB
 - ・災害対策用機械操作訓練
 - 静岡国道事務所、静岡河川事務所主催
 - 3月3日(木) 安倍川河川敷
- 委員長会議
 - ・令和4年度事業計画(案)について ほか
- 建災防島田分会
 - 第2回災害防委員会 1月28日(金) 当協会
 - ・令和4年度事業計画(案)について ほか
- 各種催事等
 - 官民連携修景モデル事業(静岡県交通基盤部との共催)
 - 1月8日(土) 県道島田吉田線
 - 交通誘導安全講習会(県協会主催)
 - 1月13日(木)~14日(金)
 - 静岡県総合社会福祉会館(シズウェル)

令和4年度(令和4年4月~)

- 総会
 - 令和4年度第1回総会 5月17日(火) 当協会
 - ・令和3年度事業報告について ほか
- 理事会
 - 第1回理事会 5月17日(火) 当協会
 - ・総会議案の審議 ほか
- 監査
 - 令和3年度監査 4月19日(火) 当協会
- 正副会長会議
 - 第1回会議 4月19日(火) 大井神社
 - ・今後の主要行事について ほか
 - 第2回会議 5月17日(火) 当協会
 - ・第1回役員会の議題について ほか
- 総務委員会
 - 春の交通安全県民運動への参加 4月6日(水)~15日(金) 全会員
- 広報委員会
 - 第1回委員会 4月6日(水) 当協会
 - ・164号の企画
 - 第2回委員会 6月3日(金) 藤枝市内
 - ・164号の校正
- 労務委員会
 - 第1回委員会 5月12日(水) 書面
 - ・親子現場見学会について
- 土木・建築委員会
 - 浜松河川国道事務所との意見交換会 5月31日(火) 当協会
- 環境・災害対策委員会
 - 災害対策用機械操作訓練
 - ・静岡国道事務所、静岡河川事務所主催
 - 5月19日(水) 安倍川河川敷
- 建災防島田分会
 - 安全祈願祭 4月19日(火) 大井神社
 - 第1回災害防委員会 5月11日(水) 当協会
 - ・支部長安全表彰受賞候補者の推薦についてほか
 - 安全パトロール
 - ・5月11日(水) 5地区
- 今後の予定
 - 島田地区建設業労働災害防止安全大会
 - 7月6日(水) 夢づくり会館

表紙解説

静波サーフスタジアム

日本初の大規模サーフィンプールとなり、約100種類の安定した波を造り出す事が出来、初級者~エキスパートまで幅広い層のお客様に満足いただける施設となっております。

(東京オリンピック日本代表チームとUSA代表チームの練習施設として使用されました。)



退職金制度

国が作った退職金制度、建退共に参加しませんか

福祉の増進と企業の振興のための建設業の退職金制度です

建設工場の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与!

建退共の掛金が電子申請で納付可能になりました!

- 加入できる事業主
建設業を営む事業主
- 対象となる労働者
建設業の現場で働く方
- 掛金は
一日 320円

特長

- ◎法律に基づき運営される国が作った制度
- ◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価
- ◎国からの財政上の支援(国の助成により掛金の一部が免除)
- ◎掛金は全額非課税(掛金または必要経費に算入できます)
- ◎複数の企業間を就業しても通算して退職金を支給
- ◎加入の手続きは簡単

建退共静岡県支部

〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7-12階

TEL 054-255-6846

建退共本部のホームページをぜひ、ごらん下さい

建退共

